

摂食嚥下を語る「つばめの会」第28回



～超急性期からの実践を考えよう～

“食べること・飲むこと”について語る「つばめの会」（代表者：横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻・教授・千葉由美）は、2015年10月から開始した会です。患者さんの状態に応じた適切な摂食嚥下リハビリテーションのアプローチが可能になることを目標にすすめてまいります。

摂食嚥下障害を有する方々に対して早期・継続的医療介入を実現するために、専門的知識や技術、さらには、関係論文の紹介、実践・症例報告、学会報告など、幅広い学習をする場になるよう考えています。また、臨床で困ったことなどの相談もお寄せ頂けるよう考えています。

摂食嚥下障害を有する方に接している実践者の方でしたら、どなたでも参加可能です。お気軽にご参加くださいと幸いです。

【日時】平成30年11月28日（水）19時～20時30分

【場所】横浜市立大学病院 10階 臨床講堂

「嚥下調整食（学会分類2013）について」

講師：関 裕子 先生 ニュートリー株式会社

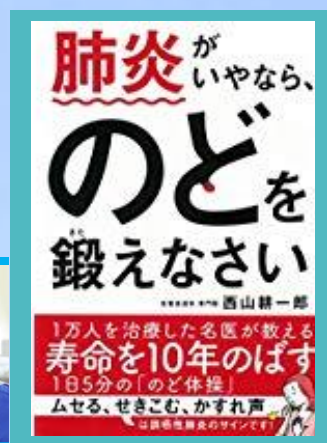
「動画でみる、のどを鍛えて肺炎を減らしたい」

講師：西山 耕一郎 先生 西山耳鼻咽喉科医院

勉強会での学びを含め、実践の場での多く
のご意見をお聞かせください！



病院のHPより転載



【参加費】300円（資料代金100円含） 当日徴収します。

*参加希望の方は、資料準備のため、11月26日（月）17時までにご連絡を頂けますようお願い申し上げます。

【スキルアップアイテム】*下記内容についてシリーズで取り上げてまいります。
問診、ベッドサイドスクリーニング（RSST：repetitive swallowing test、MWST：modified water swallowing test、FT：food test、咳テスト等）、評価（VF：videofluorography、VE：videoendoscopy等）、直接訓練・間接訓練（気道保清、呼吸訓練、Shaker訓練、食事物性調整、positioning等）、2次合併症管理（誤嚥性肺炎、VAP：ventilator associated pneumonia、長期挿管によるインシデント等） 他

【問い合わせ先】 代表者：千葉由美（横浜市立大学大学院がん・先端成人看護学教授
日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員、横浜市立大学附属病院 NST 所属）

*電話/FAX：045-787-2564 (DI) ychiba@yokohama-cu.ac.jp

作成教材・ナツグス刊「摂食嚥下ケアのための基礎と実際」動画講義

・ビデオに基づいた摂食・嚥下障害のケア・VF実践ガイド等

事務局担当：富井ルミ 横浜市立大学附属病院 ACU 病棟勤務

摂食嚥下障害認定看護師・NST 所属

*enge_tom@yokohama-cu.ac.jp または院内メール